

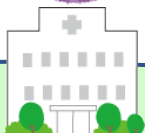
今年も暑い日が続きましたが、日によっては朝・晩の気温が下がり、秋の気配を感じられるようになりました。ひと夏がすぎ、ひと回り大きくたくましくなった子どもたち。夏ならではの遊びに、たくさん楽しい思い出ができたことと思います。まだまだ続く暑さの中で元気に外での遊びを楽しんでいますが、夏の疲れが出てくるころです。週末はしっかり休みをとり、週明けに疲れが残らないようにしましょう。



【7/29～8/26 現在】
RSウイルス 1名

近隣では手足口病が流行しています。手足の赤い発疹や米粒大の水疱、微熱・消化器症状がないか観察をしましょう！

ほけんからの



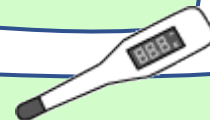
保育園でのお薬について



医師の指示により保育中にどうしても与えることが必要な薬のみ、お預かりしています。

受診時に、保育園に通っていることを伝え1日2回でもよいか、1日3回必要な場合は、朝・帰宅時・就寝時でよいか相談するなどして、できるだけ保育園でお預かりすることのないよう、ご協力ください。

お熱などの体調不良のとき



体調不良でお休みをした場合は、かかりつけ医の受診をしてください。「熱が下がったから」「症状がよくなったから」と登園してしまうと、思わぬ感染症が隠れている可能性もあります。もしそれが、新型コロナウイルス感染症であれば、園内で広がってしまいます。また、発熱のあとの24時間はこまめに熱を図り、37, 5℃以下で過ごしていることを確認してから、登園をしましょう。

通院せず登園をしてもお子さまをお預かりできない場合もありますので、ご了承ください。

ご家族が体調不良のとき



新型コロナウイルス感染症の流行とともに、濃厚接触者にあたるお子さまも増えてきました。症状が軽くても体調不良のご家族がいる、ご家族で新型コロナウイルス感染症の疑いがありPCR検査をする・また結果を待っている場合も念のため保育園を控えていただくようお願いいたします。



保育園の特性上、感染しやすい環境にあることをご理解いただき、一人ひとりが気持ちよく保育園を利用できるよう、ご協力お願いいたします。

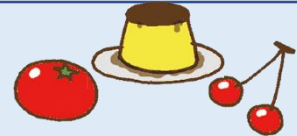


のどにものがつまったとき、どうする？

食べ物をのどにつまらせることにより気道閉塞が生じ、亡くなってしまふケースが年々増加しています。多くは65才以上の高齢の方ですが、**乳幼児ものどにものを詰まらせる事故が多く発生しており、0～4歳は毎年20～30人ほどが亡くなっています。**小学生でも喉に詰まらせて死亡する事故があります。



のどに詰まりやすい食べ物

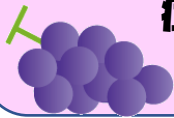


14歳以下の子どもが喉につまらせ窒息死してしまったときに原因となった食品は以下の通りです。

- お菓子（マシュマロ・ゼリー・団子など）
- 果物（りんご・ぶどうなどの大きなかたまり状のもの）
- パン（ホットドッグ・菓子パンなど）
- 肉（焼肉・唐揚げなど）
- その他（お餅・お寿司・チーズ・そうめん・ミニトマトなど）

ゼリーやピーナッツは、噛まずに飲み込めしてしまうため、誤って気道に入り窒息につながりやすく、特に注意が必要です。

のどにつまった時の 症状は？



- ・口に指を入れる、のどを押さえる
- ・声を出さない・泣けない
- ・窒息により、呼吸が苦しそう
- ・顔色が悪くなる

このイラストがポイントです→



のどにものがつまったときや誤嚥した時の対処法

■乳児が飲み込んだ場合



- ①腕にまたがらせて頭を下げます。
 - ②軽く握った手で、左右の肩甲骨の間をたたきます。
- ※口の中に指を入れて異物を取ろうとすると、奥に押し込む可能性があるため、行ってはいけません。

■幼児が飲み込んだ場合



- ①上半身を低くして背中を強くたたきます。
 - または、みぞおちを強く押し上げます。
- ※乳児に対して行ってはいけません。

子どもは遊びながら食べたり、他のことに気をとられたりする「ながら食べ」をしがちです、こうしたことも、のどに物がつまる事故につながる要因となってしまいます。「怖いからまったく食べさせない」「常に小さく刻む」では経験にならず、逆に危険なこともあります。「正しい食べ物」と「正しい食べ方」が身に付くまで、子どもが何かを食べる際には、常に注意を払っておきましょう。

大人が子どもの経験に寄り添って伝えていくことが、未然に事故を防いでくれます。

